

宮城県感染症発生動向調査情報(第44週)

宮城県【平成25年11月07日】発行

宮城県保健環境センター

TEL (022)257-7228

- 2013.10.28 ~ 11.3 ・ 第44週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所								宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市 患者数	患者数	累計	第41週	第42週	第43週	第44週
水痘	4 0.80	22 2.20	3 0.60				3 0.60	18 0.69	50 0.86	2,776	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎		3 0.30			3 1.00		1 0.50	1 0.04	8 0.14	938	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	11 2.20	16 1.60	6 1.20	15 7.50	16 5.33	4 0.80	10 5.00	41 1.58	119 2.05	13,073	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	13 2.60	17 1.70	11 2.20	10 5.00	10 3.33	9 1.80		31 1.19	101 1.74	4,300	◎→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑		1 0.10		2 1.00	2 0.67			10 0.38	15 0.26	570	○→	レ→	→	
突発性発しん	3 0.60	9 0.90	3 0.60	2 1.00	2 0.67	5 1.00	3 1.50	14 0.54	41 0.71	1,632	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ		6 0.60	2 0.40					4 0.15	12 0.21	2,085	レ→	レ→	→	
インフルエンザ		1 0.07					4 1.00		5 0.05	15,688	→	→	→	
咽頭結膜熱	1 0.20							1 0.04	2 0.03	689	→	→	→	
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	141	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13 2.60	10 1.00	3 0.60	4 2.00		29 5.80		27 1.04	86 1.48	4,156	◎→	○→	○→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	9	→	→	→	
無菌性髄膜炎						1 1.00			1 0.08	12	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		4 4.00	1 1.00				10 10.00		15 1.25	794	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	9 1.80	14 1.40	4 0.80		2 0.67	6 1.20		21 0.81	56 0.97	881	○→	○→	○→	○
拡張疾病			4 10	1	2		10	6	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
不明発疹症		1						1	【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansan-center/					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※														

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 仙南管内 女性1名(第43週)
 - 塩釜管内 男性1名
 - 登米管内 男性2名
 - 仙台管内 男性1名、女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O145)
 - 仙台管内 女児※1名、男性1名(関連)
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 仙台管内 男性1名
- 5類感染症: 報告なし

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント - 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -

[手足口病]
仙南、大崎管内で警報継続中。
栗原管内で警報値を超えた。

【病原体検出情報】
～仙台医療センターウイルスセンター～

	第42週採取分 (10.14～10.20)	第43週採取分 (10.21～10.27)	第44週採取分 (10.28～11.3)
バラインフルエンザウイルス4型	1件	0件	0件
RSウイルス	0件	1件	1件
アデノウイルス	0件	1件	0件

【RSウイルス感染症】
RSウイルス感染症には警報・注意報基準値は設定されていないが、主に仙台管内で患者報告が多く、また仙台医療センターウイルスセンターでもRSウイルスの検出が続いている。冬季に流行する傾向があるので、今後も注意を要する。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第42週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)
インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.52)、静岡県(0.12)、和歌山県(0.08)、島根県(0.08)である。今週よりコメントを開始する基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスについては報告数は1例であった。都道府県別では沖縄県で、年齢別では5歳未満であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は3,272例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮城県(1.61)、島根県(1.09)、長崎県(1.02)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山口県(1.70)、新潟県(1.48)、長野県(1.41)である。**感染性胃腸炎**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮城県(9.08)、福岡県(5.88)、大分県(5.86)である。**水痘**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(1.26)、富山県(1.07)、佐賀県(0.96)である。**手足口病**: 報告数は第38週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(4.22)、北海道(3.13)、山形県(2.67)である。**百日咳**: 報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.09)、新潟県(0.07)、大分県(0.06)である。**ヘルパンギーナ**: 報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は富山県(0.52)、北海道(0.51)、宮城県(0.44)である。**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(1.60)、青森県(1.50)、宮城県(1.17)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**は第42週から報告が開始された。都道府県別では東京都と兵庫県から1例ずつ報告があった。
 * 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。
 ()内の数字は定点当たり報告数となります。